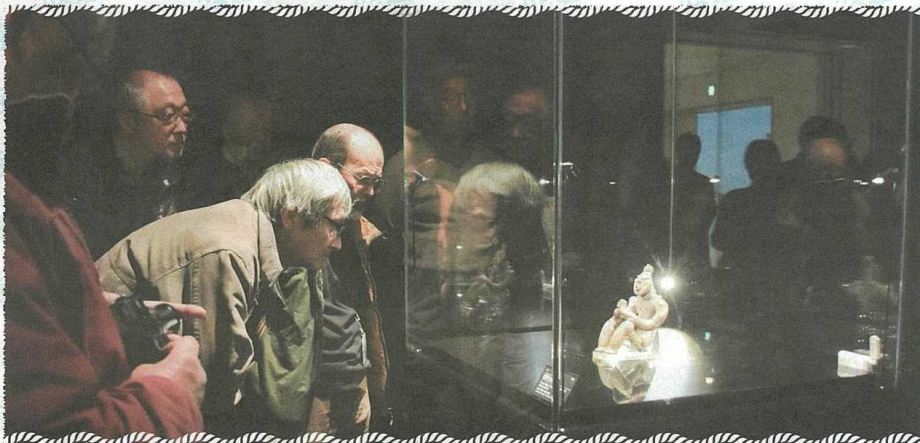


放送大学

THE OPEN UNIVERSITY OF JAPAN



1 是川遺跡出土品からみた縄文工芸

今回の面接授業の狙いは、縄文文化や縄文人のものづくり技術、考古学などに対する理解を深めることです。この日は、初日の是川遺跡見学や縄文土器作り実習に続き、館内に展示されている是川遺跡・風張1遺跡の出土品を見学。縄文時代の工芸について学びました。国宝・合掌土偶をはじめとした不思議な形の土偶や、緻密な文様の土器、美しい光沢の漆製品などに、学生たちは興味津々。講師を務めた同館学芸員の市川健夫さんの解説に、じっくりと耳を傾けていました。



市川健夫先生

2 世界遺産登録と「北海道・北東北の縄文遺跡群」の価値

「北海道・北東北の縄文遺跡群」が、2021年の世界文化遺産登録を目指す国内の推薦資産に選ばれました。この授業では、世界遺産に関する基礎知識を踏まえながら、同遺跡群が持つ文化的価値について学びました。

授業では、世界遺産の登録基準を満たしていると国や国連教育科学文化機関(ユネスコ)から判断されるポイントにも触れました。例えば▽北海道・北東北地方には縄文時代全時期の遺跡が集約し、文化圏が共通しており、縄文文化の中核的な地域である▽独自性を持つ▽各自治体により遺跡や出土品



小久保拓也先生

学生の声

「縄文漬け」の2日間でした。縄文時代から、現在とほとんど変わらない漆塗りの技術があったことに驚きました。(岩手県 佐藤裕子さん)

出土品の展示の仕方が凝っていてびっくり。ここでしかできない体験を、たくさんできてよかった！(京都府 草野潤子さん)

縄文文化を学ぼう！

放送大学の面接授業



文・写真 小泉仁美

放送大学は、自宅受講できる通信制大学。BS放送やインターネットを通じて受ける放送授業のほか、先生から直接教わる面接授業があります。面接授業は座学に加え、フィールドワークなどのさまざまな体験を通して学びを深められるのが大きな魅力です。

昨年11月30日〜12月1日に八戸市の是川縄文館で行われた面接授業「是川遺跡からわかる縄文文化」から、2日目の内容の一部をご紹介します。

北海道・北東北の縄文遺跡群

北海道、青森県、岩手県、秋田県の4道県14市町にまたがる計17遺跡で構成された縄文時代の遺跡群。狩猟や採集を主としながら定住を行った約1万年にわたる生活様式は、農耕以前の暮らしや高度で複雑な精神文化の存在を示す物証とされる。今後はユネスコの諮問機関による現地調査を経て、世界遺産委員会で審査される見通し。

放送大学

4月入学生募集中!!

3/17(火)まで 出願受付中!

八戸サテライトスペース ユートリー4階 0178-70-1663
 青森学習センター 弘前大学コラボ6大7階 0172-38-0500

放送大学には、選ばれる魅力があります。

目的やスタイルに合わせて学べます!



- 大学卒業資格が取れる
- 学びたい科目だけ学べる
- 自宅でマイペースで学べる
- 授業料の負担が少ない

もっと詳しく知りたい方は <https://www.ouj.ac.jp> 放送大学 検索

八戸サテライトスペース

土日利用できます(月曜は閉所)

見学や学習相談はお気軽に
 八戸駅に直結した「ユートリー」の4階にあり、通うのにも便利です。皆さんの学びへの意欲をここで発揮してください。

